

イオングループの薬局が千葉大学病院の開発したシステム「SHACHI」と連携し
地域住民の健康増進をサポートします

イオン株式会社（代表執行役社長 岡田元也 以下「イオン」）と千葉大学医学部附属病院（病院長 山本修一 以下「千葉大学病院」）は、地域住民の健康増進を促進するため、千葉大学病院が開発した地域医療連携システム「SHACHI（シャチ、Social Health Assist CHiba）」を2018年初頭より千葉県内のGMS（総合スーパー）イオン内などの薬局28店舗にて導入を開始し、千葉県内のウエルシア薬局への導入を順次拡大していきます。

SHACHIは、EHR（電子健康記録）やクラウド技術を活用して、効果的な地域包括ケアや広域の医療情報連携の全国への普及を目的とする総務省「クラウド型EHR高度化事業」に採択されており、システム間を連携する基盤を整備し、早期にデータの共有を進めることを目指して、イオングループの店舗網を活用します。

SHACHIは、千葉大学病院が開発した健康管理&情報共有アプリで、患者さんはスマートフォンなどを用いて医療関連の情報を閲覧し、ご自身の健康情報を管理するとともに、家族間でも情報を共有することができます。

また、患者さん本人の同意を前提とし、医療機関は診療に関する記録を登録することで、他施設から記録も閲覧できるようになります。今後千葉大学病院ではデータの自動登録を開始し、患者及び地域の医療機関、介護施設等に対する情報提供を進めます。イオングループの薬局ではSHACHIに登録された情報を活用することで、重複処方の回避はもとより、一人ひとりの病状に合わせた服薬相談などかかりつけ薬局としての機能強化につなげます。

イオンは、現在、地域の皆さまや行政、企業など様々なメンバーと一体となった地域発展の枠組み「地域エコシステム」を推進しており、今回の千葉大学病院との連携も「地域エコシステム」の柱の一つである「ヘルス&ウェルネス」の一環として取り組んでいます。

イオンと千葉大学病院は今後も、行政、団体、企業等と共に地域の皆さまの健康増進に向けた活動を行い、地域社会の発展に寄与してまいります。

【参考】

- ・ SHACHI ホームページ <https://www.shachi-net.jp/>
- ・ 総務省「クラウド型EHR高度化事業」に係る交付先候補の決定 http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu02_02000163.html
- ・ SHACHIの認知向上を目的とした生活と体験イベント「“SHACHI”と始める学ぼう！健康管理術」（千葉大学附属病院主催）を10月15日（日）イオンモール幕張新都心グランドモール1階グランドコートにおいて開催します。



ご参考

「地域エコシステム」とは

「エコシステム（ecosystem）」とは「生態系」を意味する言葉であり、「地域」という生態系の中にある複数の企業や様々なプレイヤーが関わり合い、つなぎあい、ひとつになって共に創り上げ、循環しながら広く共存共栄し成長していく仕組みを「地域エコシステム」としています。



「地域エコシステム」の第1弾展開エリアとして、昨年6月より千葉市でスタートしています。

イオンはエコシステムの取り組みを通じて、地域の発展にこれからも寄与してまいります。